Lacto Japan

株式会社ラクト・ジャパン

会社案内

Lacto Japan Co., Ltd.

Corporate Brand

みらいを育む

Purpose

世界を食で繋ぎ、人々を健康に、そして笑顔にする

Mission

食の基盤である一次産業の未来に貢献する

乳製品の新たな需要を創造する

ステークホルダーすべての豊かな生活を実現する

Value

フェアであれ

国内事業

乳原料・チーズ部門についてはこちらもご覧ください。

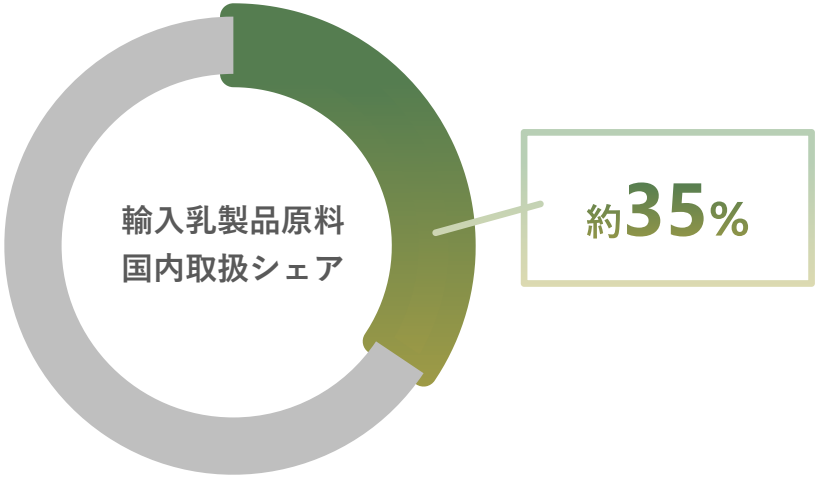
乳原料部門　**チーズ部門**

生乳から作られる「乳原料」および「チーズ」を世界各国から輸入し、販売しています。

販売先のニーズに合わせ、「乳原料」「チーズ」をフルラインナップで取り扱うほか、日本の輸入制度に対応した「乳調製品」も扱っています。

「乳調製品」はアイスクリームやヨーグルト、乳飲料などの乳製品のほか、パンや菓子の材料など加工食品の原料として幅広い食品に使用されており、取扱品目は500種類超に及んでいます。

「チーズ」は、主にプロセスチーズやシュレッドチーズの原料となるナチュラルチーズを輸入販売しています。



※貿易統計と弊社の販売数量を基に推計

取扱商品（乳原料部門）

全粉乳、脱脂粉乳、クリーム、バター、バターオイル、ホエイパウダー、WPC(たんぱく質濃縮ホエイ)、カゼイン、カゼイネート、粉乳調製品、バター調製品、ココア調製品、その他の乳調製品、乳糖、練乳、卵加工品(乾燥卵、冷凍卵など）など

事業の特徴

- ＋ 日本の乳製品輸入の黎明期から蓄積された乳原料に関するノウハウ
- ＋ 世界の主要産地をカバーする、充実した調達網
- ＋ 海外現地法人の駐在員から、マーケット情報をタイムリーにご提供

取扱商品（チーズ部門）

ナチュラルチーズ(主にゴーダ、チェダー、モザレラ、クリームチーズなど)、プロセスチーズ、カゼイン など

© Lacto Japan Co., Ltd.

乳原料・チーズの取扱商品はフルラインナップ

© Lacto Japan Co., Ltd.

国内事業

食肉食材部門についてはこちらもご覧ください。

食肉食材部門

豚肉（チルド・フローズン）をメインに、生ハム、サラミなどの食肉加工品を世界各地から輸入し、国内の食品メーカーおよび卸売・小売店に安定的に供給しています。

近年は、多様化する販売先のニーズへの対応と、さらなる事業拡大を目指し、牛肉や鶏肉など、取扱商品の拡充にも注力しています。

事業の特徴

+ 豚肉は米国Seaboad Foods社をメインサプライヤーとし、カナダやスペインなど幅広いサプライソースを確保
+ 生ハム、サラミなど食肉加工品については、欧州や米国からブランド力のある高品質な商品を調達

取扱商品

豚肉（チルド・フローズン）、牛肉、鶏肉、生ハム、サラミ、プリクックドベーコン、はちみつ、プラントベースミート、ミートカルチャー（乳酸菌）など

© Lacto Japan Co., Ltd.

国内事業

機能性食品原料部門についてはこちらもご覧ください。

機能性食品原料部門

近年、食品業界では「健康」をテーマに機能性を高めた食品の開発ニーズが高まっています。ラクト・ジャパンは、こうした健康ニーズの高まりに応えるべく、乳由来の高たんぱく食品原料である乳たんぱくをはじめ、ゼラチン・コラーゲン、グルコサミン、ナッツ類などの機能性が訴求できる商品を販売しています。

事業の特徴

- 各分野の販売先からのご要望に応えられるよう、主原料、副原料の紹介に加えて、OEM先の提案、新規商品の開発レシピの提供、最終商品の企画立案など、幅広くご提案
- 販売先のご要望に対応し、取り扱う機能性食品原料の種類を随時拡大中

取扱商品

乳たんぱく、植物性たんぱく、ゼラチン・コラーゲン、グルコサミン、ナッツ類、オーツ麦 など

© Lacto Japan Co., Ltd.

海外事業

シンガポールにある現地法人 Lacto Asia Pte. Ltd.を中核企業として、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、中国に子会社および関連会社を設立し、事業展開を行っています。
アジアでは乳原料販売（商社）とチーズ製造販売（メーカー）の二つの事業を展開しています。

アジア事業（乳原料販売部門）

乳原料販売の主なビジネスは、世界各国から調達した乳原料の輸入販売です。
日本で培った乳製品原料商社としてのノウハウを活かし、アジアに進出している日系企業やローカル企業向けに乳原料を販売しています。

取扱商品（乳原料販売部門）

全粉乳、脱脂粉乳、粉乳調製品　など

アジア事業（チーズ製造販売部門）

チーズ製造販売では、シンガポールとタイ、インドネシアにある自社工場でオリジナルブランドの業務用プロセスチーズやシュレッドチーズを製造し、アジア各国のお客さまに販売しています。

工場

シンガポール	タイ	インドネシア
プロセスチーズ、シュレッドチーズの製造	プロセスチーズ、シュレッドチーズの製造	シュレッドチーズの製造

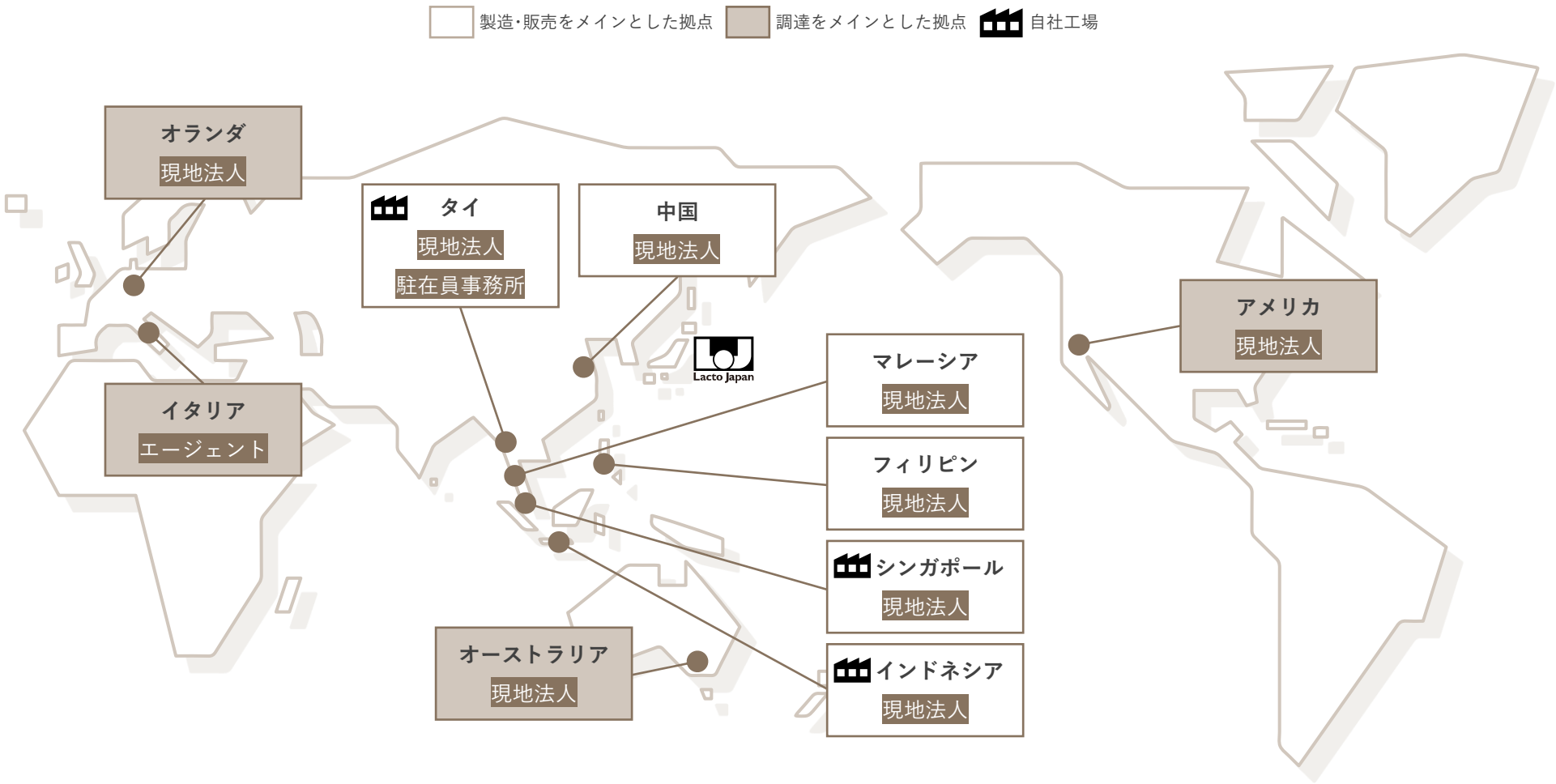
取扱商品（チーズ製造販売部門）

プロセスチーズ（オリジナルブランド）、シュレッドチーズ(ナチュラルチーズ)　など

© Lacto Japan Co., Ltd.

海外ネットワーク

乳製品、食肉および食肉加工品の主要産地に現地法人を展開、
世界の大手サプライヤーをカバーする調達網を構築しています。



海外拠点住所・連絡先はこちらをご覧ください。

© Lacto Japan Co., Ltd.

会社概要

会　社　名	株式会社ラクト・ジャパン　英文表記：Lacto Japan Co., Ltd.
所　在　地	〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目11番2号　太陽生命日本橋ビル22F
代表電話番号	TEL: 0570-055-369　FAX: 03-6281-9748
役　　員	代表取締役社長　三浦 元久

取締役	前川 昌之	＜監査等委員＞	
取締役	阿部 孝史	取締役	阿部 公昭
取締役	小島 新	取締役（社外）	原 直史
取締役	分銅 健二	取締役（社外）	寶賀 寿男
取締役（社外）	池田 泰弘	取締役（社外）	坂本 裕子

創　　立	1998年5月
資　本　金	11億58百万円（2022年11月30日現在）
連結従業員数	364名（2022年11月30日現在）
事 業 内 容	農畜産物、農畜産物加工品、食品添加物、食品加工用機械、医薬品、医薬部外品、酒類その他の飲料・食品の輸出入および販売、代理業、仲介業

© Lacto Japan Co., Ltd.

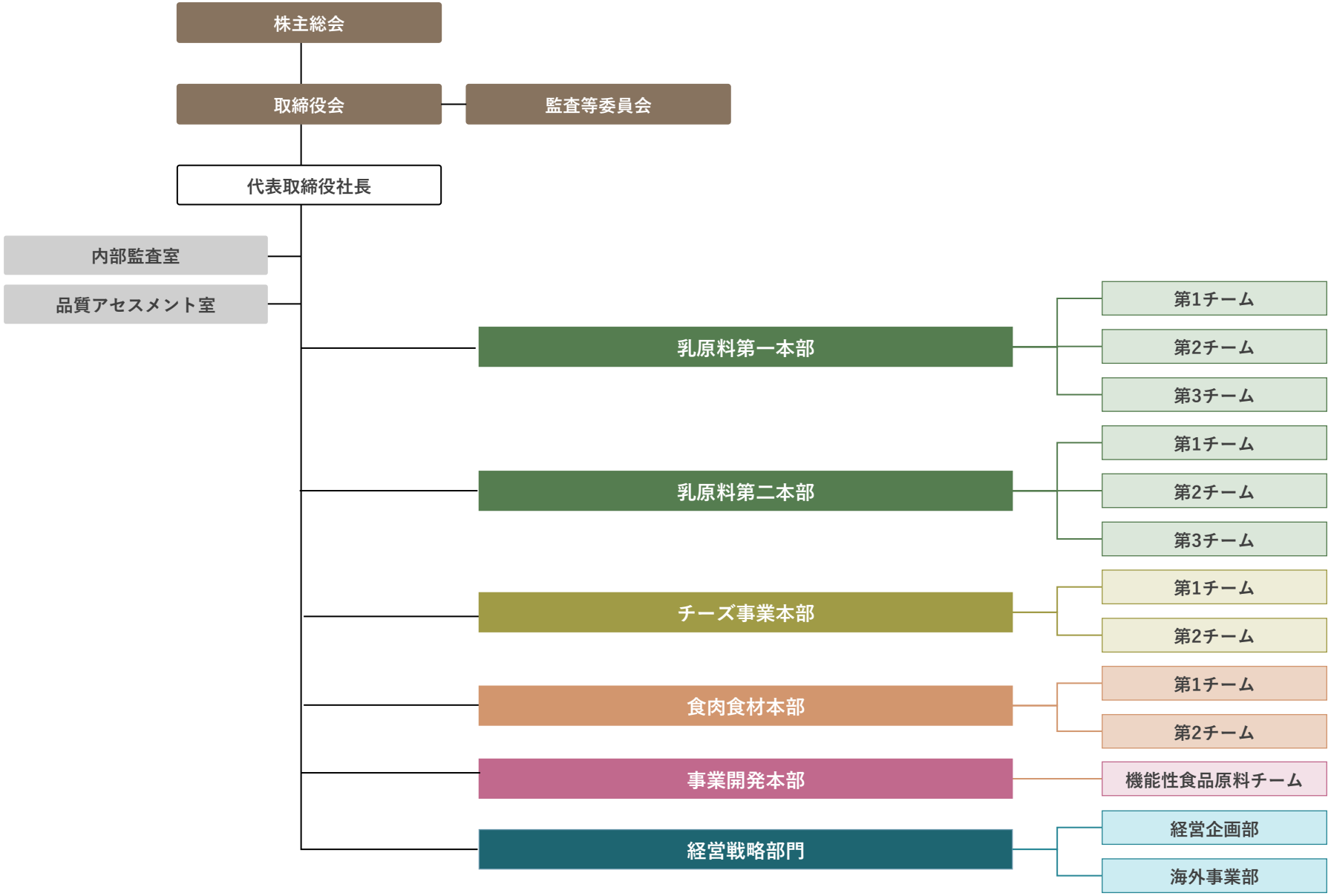
Webサイトではさらに詳細な情報を掲載しています。

□ Webサイト ホーム

□ 目指す未来

□ サステナビリティ

組織図



© Lacto Japan Co., Ltd.

沿革

1998	5月：株式会社ラクト・ジャパン 設立 10月：アメリカに駐在員事務所開設 11月：シンガポールに駐在員事務所開設
1999	6月：オーストラリアに駐在員事務所開設 シンガポールに現地法人 Lacto Japan (Asia) Pte. Ltd. 設立
2000	2月：オランダに駐在員事務所開設 4月：農畜産業振興事業団(現機構)の指定輸入業者となる
2003	12月：シンガポールに現地法人 Foodtech Products Pte. Ltd. 設立
2005	3月：食肉加工品の仕入および販売開始
2008	7月：シンガポール現地法人2社を統合、Lacto Asia Pte. Ltd. 設立 11月：アメリカ法人 Kawaguchi Trading & Consulting Inc. に出資し、子会社化
2009	9月：オーストラリアに現地法人 Lacto Oceania Pty. Ltd. 設立 10月：アメリカ法人 Kawaguchi Trading & Consulting Inc. を Lacto USA Inc. に社名変更
2010	9月：マレーシアに現地法人 Lacto Asia (M) Sdn. Bhd. 設立
2012	2月：インドネシアに現地資本と合弁で PT. Pacific Lacto JAYA 設立
2013	8月：タイに現地法人 Foodtech Products (Thailand) Co., Ltd. 設立 11月：中国に現地法人 叻克透商贸 (上海) 有限公司 設立
2015	8月：東京証券取引所市場第二部上場 12月：オランダに現地法人 Lacto Europe B.V. 設立
2017	9月：東京証券取引所市場第一部指定
2019	1月：タイに駐在員事務所開設 9月：フィリピンに現地法人 Lacto Philippines Inc. 設立
2021	2月：監査等委員会設置会社へ移行 3月：国内に連結子会社 株式会社LJフーズ 設立 11月：インドネシアに現地法人 PT. Lacto Trading Indonesia 設立
2022	4月：東京証券取引所プライム市場移行

© Lacto Japan Co., Ltd.

For the Future

Lacto Japan

株式会社ラクト・ジャパン
〒103-0027
東京都中央区日本橋二丁目11番2号 太陽生命日本橋ビル22F
TEL : 0570-055-369
https://www.lactojapan.com